

平成26年度 第4回社会教育委員の会議 会議録

- 1 開催日時 平成27年2月19日(木) 14時30分～16時30分
- 2 開催場所 中央生涯学習センター5階 人材かがやきセンター研修室
- 3 出席委員 13名
廣瀬委員長, 上野委員, 宇賀神委員, 刀川委員, 福田委員, 櫛淵委員, 坂本委員, 荻野委員, 清島委員, 吉田委員, 伊藤委員, 小池委員, 佐々木委員
- 4 会議の公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 0名
- 6 議 事
 - (1) 報告事項
 - ① 平成26年度 放課後子ども教室事業の実施状況について
 - ② 平成26年度 魅力ある学校づくり地域協議会事業の実施状況について
 - ③ 宇都宮市生涯学習情報提供システム(マナビス)のリニューアルについて
 - ④ 平成26年度 家庭教育支援事業の実施状況について
 - ⑤ 宇都宮市民大学(後期講座)の実施状況について
 - ⑥ 人材かがやきセンター主催講座(後期)の実施状況について
 - ⑦ 平成27年成人式の実施状況について
 - (2) 協議事項
 - ① 平成27年度 社会教育行政の基本方針と重点施策について
 - ② 平成27年度 文化行政の基本方針と重点施策について
 - (3) その他
 - ① 平成27年度宇都宮市立小・中学校の「土曜授業」実施予定日等について

7 発言の要旨

廣瀬委員長	報告事項の『① 平成26年度 放課後子ども教室事業の実施状況について』事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料について説明】
廣瀬委員長	この件につきまして、実際に活動している伊藤委員から、何かありますでしょうか。
伊藤委員	晃宝小では平成20年から実施してきて、軌道に乗ってきたかなと感じ

伊藤委員 しております。資料を見ると、地域の特色がいろいろ出ているなど感じています。私たちの学校では、夏休みなどの期間には、中学生に協力いただいて、放課後子ども教室の活動を実施しています。そうすることで、小学生が中学生の活動に興味を持つなど、良い効果が出ていると思っています。これらの活動にあたっては、地域の方々の御理解と御協力に大変感謝しております。

廣瀬委員長 ありがとうございます。中学生の活動する場になっているということは、大変重要なことだと思います。全国的に中学生や高校生が、部活動以外で社会参加をすることが少なくなっているため、非常に良いことだと思います。

その他に、刀川委員の学校で何か御報告できるものがあれば、お願いできないでしょうか。

刀川委員 豊郷南小学校の放課後子ども教室では、清島委員が中心となって活動いただいております。内容は、石鹸作りやスライム作りなど、バラエティに富んだ内容で非常に好評ですので、子ども達が教室に入りきらないこともあり、曜日を分けて実施しているような状況です。実施回数などを増やしていければ良いのですが、そのためには、先ほどの課題にもありましたように、コーディネーターの確保などが本校でも課題だと思います。

廣瀬委員長 ありがとうございます。清島委員から、何か活動についてお話いただけますでしょうか。

清島委員 課題については、お話があったような内容になると思います。それぞれの学校でコーディネーターが課題を解決しながら実施していると思います。年に何回か実施される研修会などを通じて、他の放課後子ども教室の活動を参考させていただいておりますが、今後につきましても、より充実した内容にしていきたいと思っておりますので、御協力いただければと思っています。

廣瀬委員長 ありがとうございます。放課後子ども教室については、多くの社会教育委員の方々関わっておられて、ここ数年、取り組みが充実してきているのではないかと思います。

その他に、この件に関しまして、何か御質問等ありますでしょうか。

それでは報告事項①について終了します。

次に、報告事項の『② 平成26年度 魅力ある学校づくり地域協議会事業の実施状況について』説明をお願いします。

事務局 【資料について説明】

廣瀬委員長 魅力ある学校づくり地域協議会についても、すっかり地域に定着してきて、色々な活動が実施されるようになりました。これらの活動について、宇賀神委員の中学校のところは会長が熱心な方で、広範な活動をされていると思いますが、何か報告いただければと思います。

宇賀神委員 私たちの中学校では、会長とコーディネーターが連携して様々な行事を実施していただいております。例えば8月には福祉施設での吹奏楽の演奏会を実施しました。また、PTAの奉仕活動とあわせて、地域協議会の方々が校舎周辺のフェンスの塗装などを実施していただきました。その他にも運動会や長距離走大会におけるご協力、地域協議会での講演会の実施や花壇の植栽など、たいへん多くの活動をしていただいております。こうした活動が学校教育にも有効に作用していると感じています。

資料の中にも記載がありますが、地域協議会の活動にあたっては、今後も財政支援など必要だと思っておりますので、引き続きよろしく申し上げます。

廣瀬委員長 ありがとうございます。中学校の協議会は、なかなか運営が難しいと思いますが、それを乗り越えて素晴らしい活動をされていると思います。

その他にも社会教育委員の中で、地域協議会の活動に関わっている委員がおりましたらお願いします。

吉田委員 私は、小学校と中学校の地域協議会に関わっております。中学校の地域協議会では、平成18年より以前に、平成13年ごろから評議会として原形があったようです。そのころから学校と地域が一体となった活動が実施されてきました。交通安全の確保が課題でありましたので、子どもたちの安全のために何が出来るかということで、活動が現在まで続いており、充実しております。最近では地域の公園づくりなどにも中学生が参画し、地域が一体となって活動しておりますので、地域からもあてにされてきていると感じています。

小学校の地域協議会については、小さな小学校でありますので、PTAと一体となって地域協議会も活動していかないと何事もうまくいかないと思っております。現在は、小学校の生活をどうやって充実した時間にできるか、何を子どもたちにしてあげられるかを校長先生とも一緒に検討しており、なんとか年度内には、1つでも2つでも協議会の事業として立ち上げたいと思っております。

廣瀬委員長 ありがとうございます。魅力ある学校づくり地域協議会も地域に定着してきて、宇都宮市の推進する小中一貫教育にも大いに貢献していると思います。これによって、地域学校園でまとまって何かに取り組むという雰囲気、地域毎に生まれていると思います。まさに、地域ぐるみで子どもを育てるといった雰囲気を作ってきていると感じています。

廣瀬委員長 その他に、この件に関しまして、何か御質問等ありますでしょうか。
それでは報告事項②について終了します。
次に、報告事項の『③ 宇都宮市生涯学習情報提供システム（マナビス）
のリニューアルについて』説明をお願いします。

事務局 **【資料について説明】**

廣瀬委員長 ありがとうございました。地域人材マッチングという新しいシステムを
取り入れたということでしたが、この件に関しまして、何か御質問等あり
ますでしょうか。

佐々木委員 円滑なマッチングということで、良い取り組みだと思います。この取組
の背景には、これまでミスマッチもあったのかなと思われませんが、そのあ
たりについて、何か御説明いただければと思います。

事務局 これまでは、活動したいと思っている地域の人がいっても、どこに相談し
たらよいのか、どういう情報があるのか分からないという声がありました。
また、生涯学習センターにおいては、各生涯学習センターが人材のデータ
を何らかの形で有しておりましたが、それを各生涯学習センター間におい
て、共有するまでは至っておりませんでした。こうしたことから、システ
ムに人材のデータを登録して、こうした人材と活動を円滑につなげていき
たいと考えております。

廣瀬委員長 ありがとうございました。その他に何かありますでしょうか。

刀川委員 2点ほどお聞きしたいことがあります。1点目ですが、マナビスを見る
ときに、まず宇都宮市のホームページを開いてから、マナビスがどこにあ
るかなと探すと思うのですが、まだホームページにはバナーが設置されて
いないと思いますので、これが設置されると良いと思います。
2点目ですが、市内の小中学校には学校情報システムが整備されていま
すが、現在のところ、学校のパソコンからマナビスにアクセスすると、マ
ナビスが表示されない状況になっておりますので、学校でもマナビスを活
用できる状況にしていただければと思います。

廣瀬委員長 ありがとうございます。事務局から何かありますか。

事務局 ホームページへのバナーの設置については、現在検討しておりますので、
今後、設置に向けて進めていきたいと考えております。2点目の学校情報
システムからマナビスが表示されない件につきましては、現状を確認させ
て頂き、対応してまいります。

廣瀬委員長 特に各学校からマナビスへのアクセスについては、状況をよく確認して、改善していただきたいと思います。その他に何かありますでしょうか。

宇賀神委員 マナビスの画面を見ていただくと、トップページにマナビスキッズというページがあります。ここを見ると、子ども向けのイベントの情報などが載っております。学校を介さなくてもこうした情報が取れるということ、また、アクセスも以前より速く感じましたので、より良いものになっていると感じました。

廣瀬委員長 ありがとうございます。その他に何かありますでしょうか。
特に地域人材のマッチングについては、個人情報などの様々な情報が公開されなければ、うまく生かされないとしますので、マネジメントをしっかりとやらないと危険なことではないかと思えます。
市民同士に細かい交渉をまかせるのは結構ですが、この人材マッチングに情報を載せているということは、ある意味、宇都宮市で保障したと同じ意味になると思えます。そうなれば、あとはそれぞれで交渉してくださいというわけにはいかないと思えます。いろいろなケースがあると思えますので、トラブルが発生したときの責任を生涯学習課に求めてくることも考えられます。そのあたりはぜひ、慎重に対応していただいて、この人材マッチングの使い方などについては、十分に周知して活用していただきたいと思えます。

事務局 一点だけ補足説明をいたします。
この地域人材マッチングシステムに登録する情報のうち、地域のスタッフ情報にあたるイベント時のテント張りなど、労力を提供するような情報については、一般公開はしないシステムの構成となっています。
こうした情報のマッチングについては、生涯学習担当職員がシステム上でマッチングを行い、個別に情報を提供してまいります。

廣瀬委員長 ありがとうございます。その他に何かありますでしょうか。
それでは報告事項③について終了します。
次に、報告事項の『④ 平成26年度 家庭教育支援事業の実施状況について』説明をお願いします。

事務局 **【資料について説明】**

廣瀬委員長 ありがとうございます。小池委員は実際活動をされているかと思えますが、事業の概要などについて何か補足いただければと思えます。お願いできますでしょうか。

小池委員 私の場合は今年度7件実施いたしました。主にワークショップを中心に講座を進めております。平成18年度から活動させていただいていますが、保護者の方のアンケートを見ていくと、当初は知識やノウハウを習得することができたという声が多かったと思います。しかし、今年度は特に保護者の方が自分の育ちを振り返り、それが子どもに影響していたということに気がついた、といった内容に変わってきました。これはファシリテーターもレベルアップを図ってきた成果なのかとも思いますが、宇都宮市の場合は、担当者と打ち合わせをして、振り返りを行い、講座をレベルアップさせてきたことも大きな要因だと思います。講座の内容が、より保護者の抱えている問題に、参加者自身が気づいて振り返ることができる内容に変わってきていると感じています。

廣瀬委員長 ありがとうございます。学習の質が高まっている様子が良くわかりました。その他に何かありますでしょうか。
それでは報告事項④について終了します。
次に、報告事項の『⑤ 宇都宮市民大学（後期講座）の実施状況について』と『⑥ 人材かがやきセンター主催講座（後期）の実施状況について』は、一括して説明をお願いします。

事務局 **【資料5，資料6について一括して説明】**

廣瀬委員長 ありがとうございました。市民大学と人材かがやきセンターの実施講座について報告がありましたが、何か御質問等ありますでしょうか。

坂本委員 宇都宮市民大学の受講生は、受講後にどこかの講師等になるのでしょうか。実は、ねんりんピックやスポレクの実施にあたり、栃木県のシルバー大学の受講生や卒業生に、かなり御協力や御支援をいただきました。こうした市民大学や人材かがやきセンターの受講生も卒業後に地域で活躍できる人材となって、地域を盛り上げていただければ良いなと思っています

事務局 市民大学の講座については、昨年度、どういう目的でどのような講座を実施するか整理したところであり、専門的・教養的な講座を実施しております。また、受講者はリピーターが多い状況です。そして、受講者を受講後にどのようにしていくかですが、現在のところ受講者を何かに位置付けるというような考えは無いところであります。受講者同士の仲間づくりやネットワークづくりに重きを置いております。先進自治体では、大学院を設立するなどの取り組みも見られますが、現在のところ本市においては、個人の学びを深めてもらうことと、仲間づくりをしてもらおうということで取り組んでおります。

廣瀬委員長 市民大学に限らず学習活動を生かして、いろいろな活動や社会参加をすることは決して悪いことではないのですが、行政が強制するのではなくて、本人がそういう気持ちになっていくような学習機会を作っていくことが必要だと思います。講座に参加している段階で、すでに社会参加や社会貢献になっていますから、そこからただ働きをさせるようになってしまっただけは、駄目です。そうではなくて、自ら社会参加をしたいという気持ちを喚起させるのは、行政に課せられた課題だと思いますし、我々はそうしたことを考えていく必要があると思います。

坂本委員 市民大学などの受講者などは、何か活動をしたいと思っている人が多いと思いますので、もう少し踏み込んだ取り組みが出来る時、そうした人材が地域で活躍することが出来るのではないかと思います。

廣瀬委員長 ありがとうございます。その他にこの件につきまして、何かありますでしょうか。それでは報告事項⑤、⑥について終了します。

次に、報告事項の『⑦ 平成27年度成人式の実施状況について』説明をお願いします。

事務局 【資料について説明】

廣瀬委員長 社会教育委員の方々も成人式に参加されていると思いますので、ご報告いただきたいと思いますが、榎瀨委員どうでしたか。

榎瀨委員 今年は午前中に宮の原中学校区、午後は一条中学校区に参加しました。素晴らしい成人式でしたが、午前中の宮の原中学校区については、協賛ポスターの件で不明な点があったのと来賓分の配布物が不足していたようです。また、来賓の席次については工夫が必要かなと思いました。

一条中学校区については、控室の準備や席次表の配布など、もう少し成人式をスムーズに進めることが出来たのではないかと思います。その他では、両中学校区とも新成人が司会を務めていましたが、学校によって男女で司会をする場合や、誓いの言葉の進め方なども違うようでしたので、今後の成人式については、いろいろな方法を検討しても良いと思いました。

廣瀬委員長 ありがとうございました。そういった細かい面など、ひとつひとつの学びが成人式を構成する要素になりますので、御指摘いただきましてありがとうございます。そういうことをきちんと伝えていくことも我々社会教育委員の使命だと思います。

その他に参加された委員の方で、何かお気づきになった方おりますでしょうか。

伊藤委員 今年は初めて違う地区の成人式に参加させて頂きました。地区ごとに、かなり雰囲気が変わるのだなと実感いたしました。私は国本中学校区の実施委員も務めさせて頂きましたが、担当センターの職員の意識で、だいぶ成人式の雰囲気も変わると思います。成人式は市で実施する事業ですので、そのあり方についても職員間で意思を統一されている必要があると思いました。また、成人式で出されているお菓子などについても新成人が個別に持ち帰れるように実施している会場もあったようで、参加して大変参考になりました。

廣瀬委員長 ありがとうございます。こういった場なので、参加された委員の皆様は忌憚のない御意見をお願いいたします。

清島委員 私は陽北中学校区の成人式に参加しました。午前中の式典に参加した新成人かと思いますが、会場のホテル前に車を駐車している状況がありまして、ホテルに入ってくる車が困難な状況になっていました。午後の会場の準備等があると思いますので、なかなか難しいと思いますが、担当の職員などは、こういった点も対応する必要があると思います。また、当日の進行表についても大変かと思いますが、十分なチェックをお願いしたいと思います。

廣瀬委員長 ありがとうございます。他に出席された委員の方で何かありますでしょうか。

刀川委員 今年から社会教育委員を務めさせて頂いておりますので、今回初めて成人式に参加したのですが、非常に新鮮に感じました。2つの中学校区の成人式に参加しましたが、どちらも新成人が「宇都宮の歌」を覚えていない様子でした。今は小学校や中学校でも「宇都宮の歌」を歌ったり、編曲して踊ったりなど、機会を捉えて流しているので、数年後には新成人が歌ったり、踊ったりできるようになるのではないかと思います。こういったことは学校で頑張りたいなと思いました。

廣瀬委員長 ありがとうございます。他にどうでしょうか。

荻野委員 成人式の進行にあたっては、地域の個性なども多少あると思いますが、進行表などはある程度マニュアルがあっても良いと思いました。私が参加した成人式は、男女での司会進行や整然とした新成人よる誓いの言葉など、大変素晴らしいものでした。また、「宇都宮の歌」ですが、今の若者に入り込むためにも、宇都宮の若者が簡単に歌えるような歌になると良いなと感じました。

廣瀬委員長

忌憚の無い御意見いただきましてありがとうございました。

成人式については、地域の実施委員の方々は毎年参加しておりますので、良く変化をわかっております。そうして、こうやっていろいろな御意見をいただいて、出来るだけ良い成人式にしていきたいと思っておりますので、委員の皆様からの御意見については、事務局は対応をしていただければと思います。

それでは、協議事項に移りたいと思っております。

協議事項『① 平成27年度 社会教育行政の基本方針と重点施策について』説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

廣瀬委員長

ありがとうございました。

社会教育行政の基本方針と重点施策について、特に平成26年度からの変更点が記載されておりますので、この件について何か御意見や御質問がありましたらお願いいたします。

地域教育推進計画に基づいて進めていくことが基本となっていると思いますが、特に社会の要請に関する事業が、以前より課題になっておりますので、その点が重要になってくると思っております。

宇賀神委員

重点施策「(2) 家庭・地域の教育力の向上」のところですが、子どもの「自己肯定感の育成」を目的とした親学講座や報告事項④の「ほめて伸ばす」をキャッチコピーとした親学などについては、とても良い取り組みだと思えました。学校で子どもたちを見ていると、あまり褒められないで育ってきた子どももおります。そういう子どもは褒められると大変驚くことがあります。こういったことは、就学前教育の中で非常に大事なことだと思いますし、大変良い取組だと思います。

廣瀬委員長

ありがとうございました。たしかに非常に大事なことだと思います。

他に何かありますでしょうか。

私から一つ意見があります。社会教育行政の基本方針について、会議の議題となっており、その中にある読書活動推進計画や地域教育推進計画など重要なことだと思います。ところが言葉だけ残っているのかと思っておりますが生涯学習推進本部などの言葉があります。現実的には生涯学習の推進というよりも地域教育の推進に大きく舵を切り替えたわけですから、この言葉だけ残っているのも私は違和感があります。

生涯学習との言うのは、広く学校教育も含めた概念で捉えるのであって、社会教育の読み替えではありません。現実には即したものにしていけないと生涯学習推進本部といったものが、全体として浮いて見えてきますので、

<p>廣瀬委員長</p>	<p>これは事務局で課題として考えてもらいたいと思います。</p> <p>宇都宮市においては生涯学習の基盤整備はもう終わっています。学習情報の提供も充実している。あとはきちんと地域に根ざした社会教育をしっかりとやるということ。これが一番の眼目ではないかと思います。地域に根ざした社会教育をしっかりとやるのが生涯学習の推進に寄与するのです。生涯学習を否定しておりませんが、このあたりについては事務局で違和感の無い様に検討していただきたいと思います。</p> <p>他に何か御意見などありますでしょうか。</p>
<p>佐々木委員</p>	<p>この社会教育行政の基本方針については、何年間の期間が対象となるのでしょうか。資料には平成26年度からの変更点が記載されておりますが、対象期間がありましたら御説明いただければと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>社会教育行政の基本方針については、毎年作成し、この社会教育委員の会議におきまして御審議いただくものであります。この基本方針に基づきまして、生涯学習課や生涯学習センターが施策を実施してまいります。第2次地域教育推進計画については、平成25年度から平成29年度までの5年間の計画となっております。</p>
<p>廣瀬委員長</p>	<p>ありがとうございました。他に何かありますでしょうか。</p> <p>それでは、協議事項『① 平成27年度 社会教育行政の基本方針と重点施策について』了承いたします。</p> <p>それでは、次の協議事項に移りたいと思います。</p> <p>協議事項『② 平成27年度 文化行政の基本方針と重点施策について』説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>【資料について説明】</p>
<p>廣瀬委員長</p>	<p>ありがとうございました。資料にもありますように、来年度も豊かな事業が実施されるようですが、何か御意見や御質問等ありますでしょうか。</p>
<p>上野委員</p>	<p>文化遺産・伝統文化の保存、活用、継承の項目の中で、『「上神主・茂原官衙遺跡」に係る調査業務を推進』とありますが、埋蔵文化財については「調査・研究」となると思います。</p> <p>また、表示板の設置や企画展の実施とありますが、学芸員の採用がない現状のなかで、こういった文言だけが先行するのは良いことではないと思います。宇都宮市の場合は、教員の方がこういった文化財の調査関係や活用施策の業務を担当しておりますが、こうした研究は現在専門性が高くなっておりまして、教員の方が勉強して対応していくのは、難しい時代となっていると思います。上三川町には考古学の専門家がおりますが、宇都宮</p>

上野委員 市と上三川町と一緒に「上神主・茂原官衙遺跡」を調査した時、調査は上三川町がやるのかという問題もあると思います。文言だけでなく、県庁所在地である宇都宮市が、こういうものにはリーダーシップを取る必要があるのかなと思います。

もう一点、(3) 個性ある文化資源活用の推進についてですが、競技かるたの公式戦とありますが、ぜひ中文連や高文連と連携した行事としていただいて、ぜひ小学生のころから、競技かるたと言えば宇都宮と言われるくらいになればと思います。

廣瀬委員長 ありがとうございます。事務局から説明ありますでしょうか。

事務局 御指摘のありました人事的な問題については、私たちとしても課題認識をしております。今後も調査研究については、しっかりと実施してまいりたいと考えております。御指摘のありました「調査・研究」の記載につきましては、現状、調査及び研究を実施しておりますので、確認のうえ訂正したいと考えております。

また、競技かるたの件につきましては、心強いお言葉ありがとうございます。百人一首市民大会に参加する高校が増えてきたという最近の動向もあります。市民大会からの次のステップとして、平成26年度から競技かるた大会を開催しましたが、高校生大学生が多く参加していただいております。今後もこういった取組を事前に情報提供していきながら、周知啓発をしてまいりたいと思います。

廣瀬委員長 ありがとうございます。先ほどの「調査・研究業務」についてですが、研究なしに調査はできません。調査・研究をして初めてその価値がわかるわけですので、この箇所については修正をお願いいたします。他にいかがでしょうか。

小池委員 百人一首のまちづくりということで、百人一首と宇都宮の関わりを示した資料を小中学校の修学旅行時に配布するとのことですが、高校生や大学生が大会に参加していただいているとの御説明がありましたので、こういった資料の配布をもう少し小さい年代のうちから配布しても良いのではないかと思います。

事務局 百人一首市民大会は、幼稚園の子どもたちでも頑張って参加できる内容となっております。また、独自の教材として、学習用のかるたがありまして、音でかるたは取ることができますので、幼児でも取り組むことが可能となっております。今後は小中学生に限らず、こういった取組が活発になるように、様々な機会を捉えて、積極的に情報提供を図ってまいりたいと考えております。

廣瀬委員長 ありがとうございます。他に何かありますでしょうか。
来年度の文化行政については、豊かな事業が予定されているようで、非常に楽しそうだと感じました。
それでは、協議事項『② 平成27年度 文化行政の基本方針と重点施策について』了承いたします。
続きまして、(3) その他になります。
『① 平成27年度宇都宮市立小・中学校の「土曜授業」実施予定日等について』は、配布された資料のとおりとなりますが、何か御質問等ありますでしょうか。
それでは、これで今期の社会教育委員の会議は終了となります。この次の委員は、また新しく委嘱されることとなりますので、皆さんの中で、何かこれだけは言っておきたいということがありましたらお願いします。

荻野委員 先ほどの「宇都宮の歌」についてですが、もっと一般的に歌えるような歌になると良いと思っております。皆さんが愛唱できるような歌にしてほしいということです。今の歌も非常に良い歌ですが、もっと現代にふさわしい、今の若者に愛唱されるような歌があると良いなと思いました。今の若者を元気づけるようなことが出来れば良いのではないかと思います。

廣瀬委員長 私くらいの年代になると、新しいことを提案しなくなることが多いのですが、荻野委員は、いつも新鮮な発言をしていただきまして非常にありがたいことだと思っております。ありがとうございます。
その他に、最後の会議になりますので、何か御意見などありますでしょうか。

榎淵委員 先日の「人づくりフォーラム」と「地域教育メッセ」で、私は総合受付を担当しておりましたが、お父さんが子どもを連れてくる姿が、とても目につきました。これは良い傾向だなと思いました。もちろん家族で来場している方が多かったです。お父さんが来ているのがすごく良いと思えました。

廣瀬委員長 ありがとうございます。
いろいろなところで、家庭教育に父親が参画するという流れができてきております。これまでの努力が実ってきたことが、実感としてわかってきていると思います。他に何かありますでしょうか。

榎淵委員 先日の「人づくりフォーラム」と「地域教育メッセ」の時に、材料費でしょうか、そのような費用がかかるブースがあったようなのですが。

事務局 ブースの状況については、事務局で確認させていただきたいと思います。

廣瀬委員長

他に何かありますでしょうか。他になれば、私から最後にお話しさせていただいて終わりたいと思います。

お手元に「HON-m i y a」が届いております。なかなか良いものになったと思います。1ページあたりの分量が多くないので読み易いと思います。私は、ここの出ている本を全部読んでみました。なんとなく読んでみたいと思ってしまいましたので。こういう冊子になって良いと思ったのは、宇都宮の図書館環境が、非常に充実しているということが手にとってわかることだと思います。

私はこれまで宇都宮市の社会教育委員長を務めさせていただきましたが、社会教育の先行きが見えてきたような感じがしています。宇都宮が地域に根ざした、地域にこだわった社会教育をしっかりとやって、そのことによって生涯学習を推進していくということが良くわかりました。

そういった地域に根ざした社会教育がある程度見えてきた中で、私は、先ほどから同じことの繰り返しになり申し訳ありませんが、生涯学習推進本部や生涯学習課という名称もそろそろ検討する時期にきているのだろうと思っています。他の都市や東京23区や横浜などでは、地域教育課や学校支援地域連携課などの名前に変わってきております。もう生涯学習課にこだわっている時代ではないと思います。生涯学習の意味は職業能力の開発に引き寄せられて、今、世界では使われております。できれば宇都宮市も「地域教育推進計画」もありますし、中身と名称が、しっかり一致するように生涯学習課の名称も含めて検討してはいかがかと思います。

私は生涯学習課という名称が駄目だったと言っているわけではなくて、十分に20年間役割を果たしたと思っています。もう生涯学習は普及されて、役割は当然果たされたので、では今後は、地域教育や社会教育に戻しましょうと。そういう時期にきているのではないかと思います。そのことによって、例えば、みんなでまちづくり課との連携をより進めることや、社会の要請に基づいた社会教育を進めるなどを明確にやっていくことが出来るのではないかと思います。

以上で私の進行を終了させていただきたいと思います。

皆さん御協力ありがとうございました。進行を事務局に戻します。

事務局

事務局より連絡事項について説明させていただきます。

【配布資料について説明】

委員の皆様は、本年6月30日までとなっておりますが、現在の予定では、本日が最後の会議となっております。閉会にあたりまして、教育長の水越より、委員の皆様に御挨拶を申し上げます。

【教育長挨拶】

事務局

本日は長時間に渡ってのご審議，誠にありがとうございました。
以上をもちまして，平成26年度第4回社会教育委員の会議を閉会いたします。